

今回の特集はDISHでした。僕自身も大昔になりますが、嚥下障害の患者さんの画像を見て衝撃を受け、そして興味が湧いたことを思い出しました。X線とCTもさることながら、MRIを見ると、確かにResnickらのいうように椎間板が健在な印象で、しかも、ニョロニョロと一緒に前まで出てきているのは一体なんなんだろうかと疑問をもちました。

しかし、転倒などに伴う骨折や脊椎全体の可動性が問題となりがちな腰部のDISHでの加療の難しさなど、脊椎の障害をきたした場合は、なにかと厄介なことが多いものだと最近感じておりました。考えてみれば、本疾患に対する術後の長期成績（骨化病巣の消長）も不明ですし、この特集を企画した徳橋先生の目のつけどころに感嘆しております。

一方で、疫学でも述べられているように、subclinicalには高齢社会では必発の現象のようにも感じました。もはや「有病率」と称していいものなのか？ すらわかりません。なにより種々の疾患とのオーバーラップもありそうで、この疾患のentityがどのように変化していくのか？ など知りたいことがたくさんありそうです。

そして、本疾患が加齢を基盤に、種々の全身的な因子との関わりがあることもわかってきたわけですが、「Nomade」で坂浦先生が述べておられることが誠にタイムリーでした。「木を見て森を見ず」ではありませんが、われわれは、本疾患も含めてもっと患者さんを広い視野から診る、つまり加齢現象も含めた全身から見た脊椎脊髄病の検討が進んでいくことが重要なんだな…とあらためて思いました。今後の発展を期待しております。

(谷 論)

脊椎脊髄ジャーナル

編集顧問

萬年 徹 高橋 昭 金田清志
小山素麿 小柳知彦 田代邦雄
国分正一 服部孝道

編集委員

徳橋泰明（編集委員長）
金 彪（副編集委員長）
青木茂樹 亀山 隆 園生雅弘
高橋敏行 高安正和 谷 論
永島英樹 中村雅也 根尾昌志
飛驒一利 松山幸弘 山崎正志

Vol. 32 No. 7
(2019 年 7 月 25 日発行)

毎月 1 回 25 日発行

1 部定価（本体 5,400 円＋税）

（配送料別）

年ごめ予約購読料 30,700 円＋税

送料弊社負担

発行／株式会社 三輪書店
代表者 青山 智

〒113-0033

東京都文京区本郷 6-17-9

本郷網ビル

TEL 03-3816-7796

FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

（担当：山岸）

印刷所／三報社印刷株式会社

TEL 03-3637-0005

広告申込所／

（株）文栄社

TEL 03-3814-8541

（株）ハイブリッジエージェンシー

TEL 03-3814-0089

本誌の内容の無断複写・複製・転載は著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.
6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, TOKYO © 2019,
Printed in Japan

JCOPY 〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構（電話 03-5244-5088, FAX 03-5244-5089, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。